

巻頭のことば

平成17年度に執行いたしました本市行政事務について、その概要を報告いたします。

平成17年度は、旧米子市・旧淀江町の合併後、「生活充実都市・新米子市」実現を目指す新しい米子市のスタートの年でした。市議会議員各位のご指導をはじめ、市民の皆様の深いご理解とご支援により、「市民との協働の市政運営」「公平、公正な行政執行」「経済合理性の追求」「市役所の改革」の4つを基本姿勢とし、限られた予算の中で、諸施策を推進してまいりました。

本市は、合併による一定の財政効果が期待できるものの、長引く景気の低迷により市税収入の増は見込めず、過去の建設事業の際の市債償還金の増大、地方交付税・補助金の縮減などにより、ますます厳しい財政状況となっております。そうした中、「新市の一体化の推進」のための淀江地区CATV施設整備、新米子市の歴史や文化財を紹介した冊子刊行、「経済の活性化」のための流通業務団地などへの企業誘致、皆生温泉集客増対策、JR境線観光路線化支援、「少子高齢化対策」のための育児支援家庭訪問事業、なかよし学級の整備、高齢者筋力トレーニングの実施、さらに「ゆとりある心豊かさ」向上のための義務教育施設や文化財整備、ラムサール条約登録の推進支援などを進め、「財政健全化プラン」の策定など行財政全般にわたる市政の改革に取り組んでまいりました。

極めて厳しい財政状況ではありますが、行政改革をさらに推進し、市民に信頼される市役所づくりを進めるとともに、皆様のご協力をいただきながら山陰の中心都市として光輝くまちづくりを目指して市政運営にまい進する所存です。

どうか、一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年8月

米子市長 野坂 康夫

重要記録

1 新米子市市長就任

4月24日に新米子市の市長選挙が行われ、旧米子市に引き続き、新米子市長に野坂康夫氏が当選された。市民一人ひとりが、豊かな自然を享受しながら、働く場があり、希望と誇りを持って充実した生活を送ることができる「生活充実都市・新米子市」の実現を目指し、新米子市の野坂市政がスタートした。

2 鳥取県西部地震から5年目に各種相互応援協定締結

鳥取県西部地震から5年目にあたり、今後の防災力の向上と災害時に即座に各種対応ができる体制作りのために、「かんぼの宿皆生との協力協定」「徳島県阿南市との相互応援協定」「国土交通省日野川河川事務所との災害情報等の伝達に関する協定」「皆生ライフセービングクラブとの相互協力の覚書」を締結した。

3 米子市行財政改革大綱及び実施計画策定

財政環境の変化の中、これまでの米子市の行財政を見直し、将来にわたって財政の健全化とまちづくりの両立を図っていくことの出来る新たな行財政システムの創造に向け、行財政改革に徹底して取り組むため、平成17年6月に策定した「財政健全化プラン」を踏まえ、実施期間を平成17年度から平成21年度までとした行財政改革大綱及び実施計画を策定した。

4 公の施設の指定管理者が決定

平成18年度から指定管理者制度を適用する46の公の施設について、新たな指定管理者が決定。

5 全日本トライアスロン皆生大会第25回記念大会開催

7月17日、全日本トライアスロン皆生大会第25回記念大会を鳥取県西部6市町村にまたがる美しい自然を舞台に開催した。全国から集まった過去最多の800人のトライアスリートたちが、190.195kmの過酷なコースに挑み、新たな歴史を刻んだ。

また、25周年を記念して、米子コンベンションセンターでトライアスロンシンポジウムを開催した。

6 第17回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア鳥取2005」開催

平成17年10月9日から15日までの7日間にわたり、「夢砂丘 まなびのオアシス さがそうよ」をテーマに県内約40会場で第17回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア鳥取2005」が開催され、延べ281,000人の参加があった。

西部地区会場では、米子市文化ホールをメイン会場に「公民館活動」と「郷土の歴史文化」をテーマに公民館学習活動発表会、生涯学習リレーマラソン、歴史探訪ツアーなどの西部地区実行委員会主催事業を含め約58のイベントが開催され、閉会式を含め延べ35,300人が参加して、学ぶことの楽しさや大切さを実感した。

7 中海のラムサール条約湿地の登録

中海が平成17年11月8日、ウガンダ共和国で行なわれた第9回ラムサール条約締約国会議において、米子水鳥公園を含む中海が、国際的に重要な湿地として、宍道湖とともにラムサール条約（正式名称；「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」）湿地登録された。

8 市章・市の花・市の鳥の制定

新米子市における市章等の制定について、市民に対しアンケート調査を行い、「米子市市章等選考会」を設置した。アンケート調査の結果を参考に「米子市市章等選考会」で市章などの制定について協議を行い、市章を平成17年12月1日に、市の花「ツツジ」・市の鳥「コハクチョウ」を平成18年1月1日に制定した。

9 米子市女性消防団員の公募と16名の任命

米子市消防団は、「団員の減少、高齢化、サラリーマン団員の増加」等の課題の解消のために、平成17年秋に女性消防団員の公募を行った結果、市内居住の女性16名の応募があり、災害時には女性しかできない仕事やニーズ、消防団活動のソフト化と活性化の推進に向けて、女性消防団員として16名の女性を平成18年2月1日に任命した。

10 新「米子市」のロゴマークとイメージキャラクターが誕生

平成18年2月28日、米子市のロゴマークとイメージキャラクター（男性：ネギ太、女性：ネギ子、2人合わせて：ヨネギーズ）が誕生した。

これらは、米子市のイメージアップを図っていくために制作されたもので、米子市ホームページや市報に掲載されているほか、「ヨネギーズ」の着ぐるみは、市内で開催される各種イベントに積極的に参加し、子ども達に大人気となっている。最近では、携帯ストラップなどのグッズ製作も検討されている。